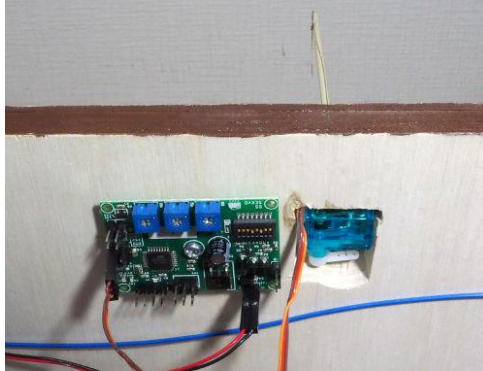
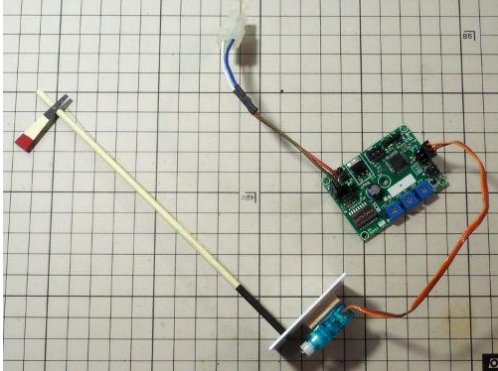


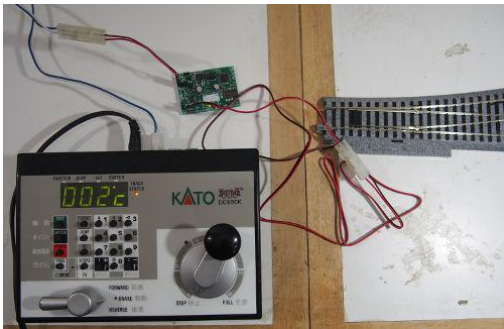
### 1. 信号機を設置する



<http://www.ameneko.net/aso-bit/2017/171130/171130.html>

DesktopStation 社の「DSservo decoder」利用

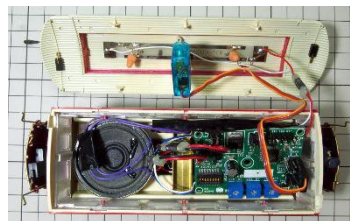
### 2. 0n30 の新規モジュール



<http://www.ameneko.net/aso-bit/2017/171031/171031.html>

DesktopStation 社の「DSsturnout decoder」利用。このデコーダーはポイントマシンのリード線にそのままつなげるので、従来の Digitrax DS51K より使いやすい。

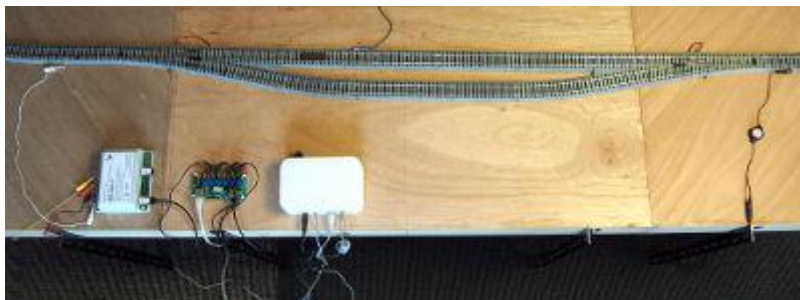
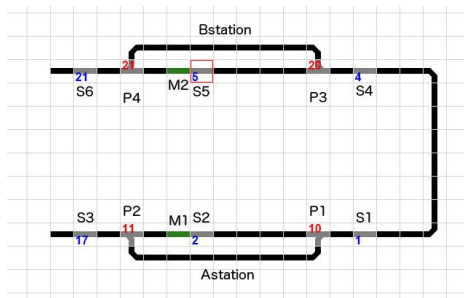
### 3. 市電のギミック



<http://www.ameneko.net/aso-bit/2017/170616/170616.html>

名古屋電鉄の「MP3 サウンドデコーダ V5」と DesktopStation 社の「DSservo decoder」利用。Bachmann の 0n30 市電にサウンドデコーダーを組み込み、ポールを回すギミックを仕込んだ。

#### 4. 自動運転で機回し



列車はA 駅と B 駅で機回しをして、両駅間を往復する。

ポイントは P1~P4 の 4 ヶ所、センサーは S1~S6 の 6 ヶ所、磁石によるアンカップラー(連結器解放)は M1, M2 の 2 ヶ所必要になる。

図の青数字はセンサーアドレス、赤数字はポイントの DCC アドレスである。

<http://www.ameneko.net/aso-bit/2016/160312/160312.html>